

上尾歴史散歩

270

市制施行55周年特別企画

上尾サイクル紀行 ⑥

十連寺から西コースのゴールJR上尾駅西口へ

「上尾サイクルマップ」で訪ねる郷土の歴史



川の大じめ

鴨川沿いを下るコースを「すずむき橋」で右に折れ、今泉の十連寺に向かう。
干菜山十連寺は徳川家康の命名と言われる浄土宗の寺院で、本堂の扉の葵の紋とともに、十連寺と徳川家との深い関係がうかがうことができ。隣接する今泉共同墓地には、多くの市指定文化財が存在する。
今泉小の脇を通り、市民体育館通りに入る。ことし4月に改装した体育館を過ぎると、道の左側に悪疫が村に入るのを防ぐために張ったという注連(しめ)縄「川の大じめ」がある。長さ4mを超えしめ縄は毎年5月15日に張り替えられ、今も旧道の入口から川地区を見守っている。

いよいよサイクルマップ西編のゴール、JR上尾駅西口に到達する。明治16年7月、上野と熊谷間に高崎線が開通し、埼玉県内では浦和・上尾・鴻巣・熊谷の4駅が開業した。明治18年3月、大宮駅が2年遅れて東北線の分岐点として開業した。上尾に駅が置かれたのは、入間県(当時荒川以西は入間県であった)の県庁所在地で物資の集まる川越町と上尾川越街道で結ばれていること、また、原市・岩槻などを結ぶ交通の要地として見られていたためであろう(『上尾百年史』)。

昭和後半になると、42年に埼玉国体が行われ、それに伴い駅が拡張された。ホームに立った時に感じた、あの何とも言えない匂いを今でも鮮明に覚えている。昭和40年代前半、駅の西側に住んでいた私以外にも懐かしく思う人は多いだろう。また昭和44年の橋上駅の完成と駅西口開発の頃は、西口交差点近くに豆腐屋と養鶏場があり、いつも作られて、産みたてが食べられた

駅西側には、昭和7年に東洋時計製作所が移転してきた。次いで11年、昭和産業(株)上尾工場が設置された。翌12年には(株)東洋伸銅所上尾工場の前身の(株)大塚伸銅所と相次いで工場が稼働し、県内でも有数の工業都市に成長していった。



ことは田舎出身者にとって何よりうれしいものだった。今の駅西口の様相からは遠くかけ離れ、想像すら難しいような光景が広がっていた駅西口を振り返ったところで、サイクルマップ西編を終えた。次号からはサイクルマップ東編の駅東口をスタートする。(ぐるっとサイクルリング同好会・川島一郎)



橋上化された上尾駅の西口(昭和44年)



アッピーを探そう!

右のアッピーが登場するのは? ページ



【賞品】 正解者の中から抽選で5人に、粗品を差し上げます。

【応募方法】 はがきかメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、『広報あげお』の感想を記入して、9月20日(金)まで(必着)に上尾市広報課「わくわくクイズ係」へ。

あて先: 〒362-8501本町3-1-1
メールアドレス: s55000@city.ageo.lg.jp

【発表】 賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。 ※正解は10月号のこのコーナーで。前号の答えは「20」でした。ご応募ありがとうございました(応募者45人)。

市の人口・世帯

(平成25年8月1日現在)

22万8,006人

男/11万3,637人

女/11万4,369人

※前月より69人増。

9万5,068世帯

◆「広報あげお」は、各支所・出張所、JR上尾駅・北上尾駅の他、市内の各公共施設、金融機関などに置いてあり、自由に持ち帰れます。
◆環境保全のため、市内の公共施設へのお出掛けは市内循環バス「ぐるっとくん」を利用してください。



本紙は、再生紙を使用しております。